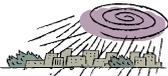


8月31日(水) 19:46 9月1日(木) 6:33



久しぶりの震度5弱 4月を思い出しどきどきしました。



9月1週目の週末を襲った台風12号

2時間遅れの遅延登校としましたが、たいしたことなくほっとしました。

熊本地震をはじめ、東北や北海道を襲った台風。最近はこちらこちらで今までに経験したことがないような災害が起こっています。「防災」はこれからキーワードになる言葉だと思います。

9月1日朝の地震は、前夜に続くものだったので、子どもたちの心の状況、昼間に地震が起こったらを考えました。また学校の施設設備の点検等も次のようにしました。



AM6:51 登校についてメール配信。次に下の内容のプリントを先生たちの

～各学級での児童への指導事項～

- ①地震が続いているが、学校は安心・安全な場所であるから心配なくて良い。
- ②大きな地震がおきたらまずは机の下にもぐり身の安全を確保します。
- ③登下校中、休み時間中におきたら「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に素早く身を寄せ、安全を確保します。
- ④揺れがおさまったら、指示にしたがって慌てずに避難します。

出勤前(AM7:10)に机上におきました。次々に先生たちが出勤。AM7:15 運動場点検(特に亀裂が入っていた遊具付近)。例の体育館北側の崖崩れした土手、東側渡り廊下(亀裂が入り通行不可の場所)体育館・プール周辺、南校舎1F・2F、北校舎、及び各ベランダ、敷地周りの点検も手分けして行いました。また、通学路も1～2丁目、3・4丁目、高尾野と手分けをして見にいきました。登校指導にも中央公園前、正門、西門、4丁目理容店前に立ってもらい、AM8:00には、いつも通り登校が完了し、安心しました。



また9月5日の登校については、9月4日(日)の正午に町全体で判断をして連絡することになっている旨メールでお伝えしたところ。結果的には通常通りの登校でも大丈夫でした。判断する時間がもう少し遅ければ通常通りという判断もあったでしょうが、判断が遅ければ次の日に向けての準備等で却ってご迷惑をかけることにもつながります。ご理解いただきたいです。学校では、2日(金)にプランターや雑巾かけ等を校舎内に入れるなど台風へ備えました。もちろん私たちは、5日(月)は通常通りの勤務でしたので、子どもたちが登校する前は、室内に片付けた物を元の場所に戻したり、立ち入り禁止区域のテープを直したり、土曜日の美化作業で残っていた草を集めたり、通学路点検をしたりしました。2時間はカットになりましたが、通常通りの授業ができて何よりでした。

「災害に備えて考え、動き、何も無ければそれでよし」と、東北の佐藤敏郎先生もEARTHの三村先生もおっしゃっていました。

8月25日 EARTHの三村先生に再度来ていただきました!

三村先生には、授業再開した直後の5月18日に保護者の皆さんにも話をさせて頂きました。今回は震災から4ヶ月たった美咲野小の様子を伝え、今後の避難訓練をはじめとした防災教育のあり方やその後の子どもの心のケア等について相談しました。「命を守ろうと自分で考える子どもを育てること」の大切さを自動車の運転を例に話されました。どこかに出かけるとき、後部座席に座っていると、どこを曲がるのか等ほとんど気にせず座っていて、ああ着いた!と思うけれど、自分が運転していかなければならないときは、いくつ目の信号を右に曲がって・・・など自分で考える。だから地震が起きたらどうするかも自分で考えて動けるようになることが、車の例と同様に大切だということです。なるほどと思いました。また、心のケアについては、子どもはいろいろな形でストレスを出してくるだろうが、そのときがチャンス。「そんな気持ちだったんだね。」「いつでも話していいんだよ。」という大人の姿勢が大事。時間やエネルギーはかかるが、かけたエネルギーはその子どもに蓄積していきます。とのことでした。 ～つづく～

9月3日(土)の美化作業、台風接近の中 大変お世話になりました。学校が大変きれいになりました。

美咲野小 だいすい



NO.26 H28.9.9 大津町立美咲野小学校 文責:草場ルミ子

美咲野小の 様子

五年生は、八月三十日(火)三十一日(水)菊池少年自然の家集団宿泊教室に行きました。三十日の朝は、それぞれに着替えなどが入った荷物を抱えて登校班で歩いてきました。集団宿泊教室や修学旅行など大きな荷物がある場合(集合解散の時間帯にもよりますが)送迎が当たり前の学校が多い中、美咲野小の五年生は、大きくて重そうな荷物をしっかり抱えて歩いてきていました。家を出たときから、集団宿泊教室が始まっているなど感心しました。宿泊教室中も話の聴き方、五分前行動、整理整頓など、とてもよくできていたそうです。帰ってきた五年生はすっかり高学年の顔でした。運動会に向けて、その成長ぶりが楽しく見えました。夏休み中、持ち帰っていた朝顔の鉢を自分で抱えて学校にもってくる一年生の姿も見ました。温かい気持ちになりました。